

2020年4月1日

幼保連携型認定こども園 **YMCA 保育園 4月えんだより**

年主題 『こころが満たされる』

年主題聖句 「喜びと平和とであなたがたを満たす」

＜ローマの信徒への手紙 15章 13節＞

暖かな春の陽ざしを感じます。新入園児の皆様、ご入園おめでとうございます。そして、クラスが変わり、進級された皆様、ご進級おめでとうございます。喜び祝う節目の時ですが、今年は感染症の対策で、非日常的な行動や新しい環境、慣れない生活リズムに不安を覚える方もおられるかと思えます。どうぞ、一つ一つを共に語り合いながら解消し、一日一日が満たされ、一日も早く、日常に戻りますことを祈っています。

さて、今年3月20日に、国連による『世界の幸福度調査』が発表されました。フィンランド、デンマーク、スイス等社会保障が充実した国々が上位を占め、日本は153か国中に69位と、年々下降傾向にあります。世界に比べると、日本は、「助け合い」、「自由度<主体的な選択>」、「寛容さ<互助>」が弱いというデータでした。人が幸福と感じるのは、自ら進んで行動して、他者のお役に立つ「利他的な行為」が多いほど、幸せを感じる度合いが高いといわれます。つまり、私たちの生活スタイルといえますか、大げさに言えば、大人の生き方が問われている時代であるとも思います。

2020年度のキリスト教保育の主たるテーマは「こころが満たされる」です。私たちが「言葉」を通じて、心が響きあうことから、更に一歩進んで、「(互いの)心が満たされる」ことをテーマにしていきます。人間の欲求は、本能的な欲求から安全やつながり、承認される欲求、そして、自己実現していく欲求へと変化していきます。しかし、欲求は満たされれば、次の不安が生まれ、有無同然と感ずることが多く、心が満たされることがなかなかありません。私たちはそうした、人間の欲求に基づいた満足を得ることではなく、イエス・キリストの生き方をまなび、「神様ならどんな行いをするのか?どんな生き方を選択するのか?」等をひとつの選択肢として、共に学びあい、世に必要とされて生命を与えられた子ども達や私達は、日々の活動を通じて「今、生きる」ことの意味と感謝をしながら歩んでいきたいと思えます。2020年度もご支援、ご協力をいただきますよう宜しくお願いいたします。

4月聖句 「あなたがたは 神に愛されている子供です」

＜エフェソの信徒への手紙 5章 1節＞

4月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	おはよう	であう
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 自分が受け入れられていることを感じ、安心する * 新しく出会った人やものに親しみを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> * 保育者の姿や祈りを通して神様と出会う * 友だちや保育者に親しみをもつ * 好きなあそびを見つけ安心して過ごす
讃美歌	ひとりひとりのなをよんで	ひとりひとりのなをよんで 幼児讃美歌Ⅱ20